

【資料4】

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業とは

- ◆中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- ◆中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱(農林水産省)に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は約6億円。
- ◆事業主体は都道府県。
- ◆運用益と基金を取り崩して事業費としている。令和5年度当初予算額は約14,519千円。

事業の構成

1 調査研究事業 令和5年度予算額：10,382千円（令和4年度事業費：9,733千円）

- ・地域住民活動の活性化に係るワークショップ等の実施
- ・大学生等の外部の力を活用して集落の活性化を図る取組を実施
- ・集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2 研修事業 令和5年度予算額：400千円（令和4年度事業費：40千円）

- ・地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3 啓発推進事業 令和5年度予算額1,784千円（令和4年度事業費：200千円）

- ・中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

コンサルタントによる支援 (令和4年度事業費 : 3,960千円) (令和5年度予算額 : 4,000千円)

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。(企業に委託して実施1地区あたり200万円を上限とする。)

ときがわ町 (R4～) 株式会社なとね



- 昨年度は、地域住民と都内の山椒ファンによるときがわ町の山椒収穫体験や、山椒を活用した地域活性化についてのワークショップを実施し、山椒の販路や、認知度向上に向けたPR方法等についての検討が行われた。
- 都内レストランにおける山椒の試食会の開催等による山椒の栽培と販売を支援するパートナー店の開拓、海外輸出に向けた検討にも取り組んだ。
- R5は委託事業終了後も自走していける住民活動を目指す。

本庄市 (R5～) 日本コンサルタントシステム株式会社

- 本庄市中山間地域の魅力発揮による都市間交流の促進をテーマに地域資源を再発掘するとともに、農地有効活用方策や都市間交流事業の検討など、地域の活性化に向けた取組を行う地域住民活動を支援。
- 来年度以降の地域住民活動支援につなげていく。

県の研究機関による支援

(令和4年度事業費：856千円)

(令和5年度予算額：962千円)

1 概要

中山間地域において、地域住民活動の活性化に資することを目的に、集落営農を確立するための調査研究を県研究機関が実施する。

県農業技術研究センターでは「鳥獣害対策」、県茶業研究所では「お茶の生産技術」に関する研究を実施している。

2 令和5年度実施計画

(1) 鳥獣害対策

- ニホンザルの効果的被害対策の解明（サル群の行動把握と地図化）
- ICT捕獲システムを活用した効率的な捕獲技術の開発
- 被害防止対策の検証（侵入防止柵設置マニュアル応用編の作成） など

(2) お茶の生産技術の確立

秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立と新たな需要の開拓をテーマに研究を実施

- 紅茶、緑茶、ほうじ茶などのティーバッグ、それらの加工品の開発による新需要の開拓
- 消費者・紅茶流通業者を交えた求評会による紅茶品質評価の実施 など

ふるさとリーダー研修

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。(令和4年度事業費：40千円)
令和5年度は2回開催予定。(令和5年度予算額：400千円)

第1回：都市農山村交流実践研修会

- ・日時：令和5年8月9日(水) 14:00~16:30
- ・場所：東松山市民文化センター 第1会議室
- ・テーマ：「成功事例に学ぶ！地域農業をけん引する観光農園経営のすすめ」
- ・講師：県農業技術研究センター 野菜育種担当 担当部長 尾田 秀樹氏
株式会社 ヒロファーム 代表取締役 中村 知由氏
- ・内容：全国いちご選手権で最高金賞を受賞した(株)ヒロファーム中村知由氏を講師に招き、お客の声を反映したサービスの提供や、いちごの品質向上を図るための実証栽培の取組等を通じた経営展開、直売と観光農園を組み合わせた収益モデルの確立に関する講演を開催。
また、県農業技術研究センター職員によるいちごの育成を中心とした県オリジナル品種の普及の取組や体験談等の講話、参加者同士の交流を行う研修会を開催する。



第2回：都市農山村交流実践研修会

- ・11~12月頃開催予定

中山間地域における取組の広報

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動を実施する。
(令和4年度事業費：200千円)
(令和5年度予算額：1,784千円)

令和5年度中山間ふるさと啓発推進事業（業務委託：秩父観光農林業協会）

中山間地域の活性化に向け、地域の農業者や農業関連団体との協働により、地域の特産農産物や農業の取組、多面的機能に関する広域的な広報活動などを行う。

【いちごの啓発】

- ・日時：令和5年4月8日（土）9:00～12:20
- ・場所：秩父鉄道SL車内（くだり「熊谷駅」から「長瀨駅」間）
- ・内容：秩父鉄道SL乗客に対し、秩父地域産のいちご「あまりん」の試食や観光農園PR用パンフレット等を配布

【ブルーベリーの啓発】

- ・日時：令和5年7月1日（土）9:00～12:20
- ・場所：秩父鉄道SL車内（下り「熊谷駅」から「長瀨駅」間）
- ・内容：秩父鉄道SL乗客168名に対し、秩父市産ブルーベリーの試食や観光農園PRチラシ、中山間地域振興に関する啓発用チラシを配布



その他

- ・ポータルサイト「グリーン・ツーリズム埼玉」での中山間地域の観光農園やイベント等の情報発信
- ・イベントでの啓発資料配布・パネル展示
- ・情報誌の配布

中山間地域ふるさと事業

中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(棚田基金)

棚田基金の構成

1 保全ネットワーク推進事業

- 保全活動への都市住民等の参加推進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供

2 保全活動推進事業

- 保全活動を行おうとする住民組織の活動計画等の作成

3 保全活動支援事業

- 住民組織が行う保全活動に要した経費に助成

※地域振興関連施策（中山間地域等直接支払等）と連携

棚田基金を活用した取組

(令和4年度事業費：388千円)
(令和5年度予算額：400千円)

棚田地域に関する情報を発信し、都市住民も交えた地域住民活動を推進。

<令和4年度の活動>

西武鉄道や横瀬町観光協会と連携し、横瀬町でのハイキングイベントやあしがくぼ氷柱イベントにおいて、寺坂棚田で生産された棚田米や棚田めぐりガイドを配布し、都市住民に向け情報発信を行った。



11/20 横瀬町（札所6番ト雲寺）
（横瀬町ウォーキングイベント）



イベントには、多くの観光客が訪れ、「寺坂棚田にも寄りたいたいと思う。」「棚田で作ったお米がもらえるなんて嬉しい」などの声が聞かれた。



1/7横瀬町（道の駅あしがくぼ）
（あしがくぼ氷柱イベント）

寺坂棚田の様子



令和5年度寺坂棚田学校開校式の様子
※寺坂棚田学校HP



「つなぐ棚田遺産」認定の看板



寺坂棚田ホテルかがり火まつり（7月上旬）
※横瀬町観光webサイト



彼岸花まつり（9月中～下旬）

令和3年度「つなぐ棚田遺産」
（ポスト棚田百選）に認定

寺坂棚田
（「つなぐ棚田遺産」
サイト掲載写真）



「つなぐ棚田遺産」サイト
（農林水産省HP）